# 令和3年度光が丘地区社協・総会は書面議決で

※1ページに地区社協の重点項目と年間事業計画を掲載

## 書面議決の内容は

◆　令和2年度の事業報告・収支決算報告・会計監査報告
◆　令和3年度の役員の選出
◆　令和3年度事業計画・予算案

となっており、これをまとめた資料を書面にし、理事の方全員に配布し、5月21日までに評決を行いました。

結果、全ての議案について理事総数50名（新理事5名を含む）全員の賛成をもって可決しました。

5月22日、役員会を開催し、書面議決の確認を行いました。

## 地区社協の新役員

4月の理事会で選ばれた選考委員により新役員が選考され、書面議決において承認され決定しました。昨年と同じメンバーが役員となりました。

会長　飯沼　守
副会長　阿部　俊夫、西田　洋子
　　石井　トシ子、西本　敬
会計　加賀谷　育子　小山　千秋
監事　小倉　偉男、石井　和子

役員、理事44名で地区の福祉に邁進します。

5月22日役員で
書面議決の結果を役員で確認

## 地域福祉活動功労者表彰

光が丘地区社協は地域の福祉などに貢献された方を表彰。

例年は総会でお渡ししていますが、総会が開催できないため別途に表彰状をお渡しします。

**〔表彰の部〕**
内田　幸雄（陽光台老連）
藤井　美耶子
　　（高齢者支援センター）
菅沼　稔　（民児協前会長）

**〔感謝の部〕**
〔株〕綜信設備　代表・割柏　秀規
グループピコ
　　代表・佐々木　ハルヨ

## 光が丘地区の主な年間活動

※ 新型コロナの流行の具合によって変わることもあります。

5月　地区社協総会　書面議決
6月　お年寄りの集い（9月以降に実施予定）
　　サロン代表者会議（15）
　　福祉協力員研修（24）
　　ふるさとまつり模擬店等（中止）
8月　ふれあい交流会（11）
9月　地区社協理事バス研修（15）
10月　街頭募金（3）
　　自主防災訓練（10）
　　ボッチャ講習会（24）
11月　ダイヤモンド婚お祝い（17・18）
　　光が丘公民館こどもまつり（28）
1月　地区賀詞交歓会（8）
2月　福祉講座・福祉協力員研修（12）
3月　陽光台公民館まつり模擬店（5・6）
　　光が丘公民館まつり模擬店（12・13）

赤い羽根街頭募金

お年寄りの集い

福祉講座

福祉協力員研修

福祉バザー

ふれあい交流会

餅つき
（光が丘公民館まつり）

たこ焼き
（陽光台公民館まつりなど）

※　**年間を通して**　役員会、理事会、里づくり委員会、広報紙の発行、にぎわい処・サポート隊の活動、サロン活動の支援、若者世代の参加促進事業など

※　**お年寄りの集い**　新型コロナ感染症の流行により実施方法は検討中。また対象年齢が70才以上→75才以上に変更になりました。



# コロナに負けるな　コロナ禍でも工夫をかさねてボランティア

光が丘地区には、多くのボランティアに支えられたグループが活動しています。

しかし新型コロナ感染症のため活動がやむなく縮小・中止となっているようです。

この中で工夫しながら頑張っている4グループを紹介します。

## 光が丘サポート隊

地域の方からの依頼で草抜きや樹木の剪定

ふれあいセンターの受付とボランティアの依頼受付

地域の方のチョットした困りごとを支援するボランティア団体です。

高齢のサポート隊員も頑張っています。（現在、約40名）

**《主な活動》**

- **光が丘ふれあいセンター受付**
  年末年始以外休みなし
- **草取り、植栽の手入れ**
  高齢者、一人暮らしの増加で件数が増える傾向
- **買い物支援**
- **障がい者の送迎**
- **近所のゴミ捨て**　など

## グループにぎわい

↑火曜日、皆で手分けしておいしい手料理

↓木曜日、できあがった弁当を囲んで

火曜日・木曜日に光が丘ふれあいセンターの2階で高齢者、障がい者を対象に昼食の提供（300円）をしています。火・木合計で21名が活動。

現在、新型コロナ感染症のため、作った料理をふれあいセンター内で飲食することが難しく、**弁当の形**で提供しています。近隣の障がい者の施設などの皆さんから注文も頂いています。

## つどいの家「ケセラセラ」

地域の人たちが気軽に集まれる場所になればと光が丘3丁目（杉の子）に令和元年にオープン。定期的な会は

- **シルバーサロン**
  毎週水曜日13時～16時
- **パン教室**　奇数週　月曜日・土曜日10時～、13時～
- **手芸サロン**
  毎週木曜日13～16時
- **足つぼワンポイントレッスン**
  第3水曜日14時～

5月13日の手芸サロンに取材訪問。

オーナーの前野さんのリードで進められていますが、参加者を主体に楽しく取り組んでもらおうとの気配りに、居心地の良さを感じました。

作品作りの後は、お茶を飲みながら、おしゃべりを楽しみました。

手芸作品見本
「鯉とブローチ」

## 買い物お助け隊

平成31年4月～毎週、火・水・木曜日に地域の高齢者を対象（現在42名）に買い物お助け隊を運行しています。

車は「県央福祉会」の協力でお貸しいただき、3名のボランティアの方が運転していますが感染などに対応しながらの運転となっています。

受付はサポート隊の5人が行っていますが、運転手の方との連携はかなりいいようです。